

I 研究内容

1 研修主題

ともによりよく生きようとする児童の育成
－自分の思いや考えを伝え合う道徳の時間の工夫・改善を通して－

2 主題設定の理由

平成20年度改訂の小学校学習指導要領では、総則第1の2に「学校における道徳教育は、道徳の時間を要として学校の教育活動全体を通じて行うもの」と示され、また、各教科等においては、言語活動の充実が、重要な改善の視点となっている。群馬県の学校教育の指針でも、本時のねらいの達成に向けて、話し合い活動を効果的に展開し児童生徒の道徳的価値の自覚を深めるよう、指導の重点が示され、言語活動の充実が推進されている。さらに、平成30年度においても、「特別の教科 道徳」として基本的な考えは継承され、学校教育における道徳教育の役割はさらに高まるものと考えられる。伊勢崎市においても、「伊勢崎教育構想2015」の「愛」燦々プランにおいて、道徳教育と特別活動の充実を挙げ、社会性を基盤とした豊かな心を育てることを目指している。

本校では、言語力の身に付いた児童の育成を目指し、平成23年度より、国語科・算数科において授業実践を行ってきた。さらに、平成26年度は、算数科における「学び合い活動」に焦点をあて、自分の考えを伝えたり、友達の考えをしっかりと聞き、自分とは違った考えに触れたりすることで、児童一人一人が自分の考えをもち、それぞれが自らの考えを深めていけるよう努めてきた。

本校の児童は、祖父母を含めた地域のお年寄りや家族に見守られて育ってきた、明るく素直な児童が多い。困っている友達や下級生に優しく声をかけたり、花壇の花や教材園の野菜を大切に育てたりと、思いやりの気持ちをもって、元気に学校生活を送っている。しかし、道徳的価値を捉える際に、これまでの生活経験や学習経験を基に、感じ方や考え方に根拠をもったり、自分との関わりで考えを深めたりするまでには至っていない。また、友達の感じ方や考えを生かして、新たな考えを取り入れたり、これまでの考えを捉え直したりすることについても十分とはいえない。さらに、理解した道徳的価値について、日常生活に生かし切れない姿も見られる。そこで、他の教育活動との関連を図りながら道徳の時間を要として、児童が互いに自らの思いや考えを伝え合うことで、これまでの自らの思いや考えを深めるとともに見つめ直し、よりよく生きようとする意欲や態度をもてるようにすることが大切だと考える。

以上のことから、道徳の時間において、自分の思いや考えを伝え合う活動を取り入れ、工夫・改善することによって、自分の考えを深めたり高めたりし、ともによりよく生きようとする児童の育成を図ることができると考え、本主題を設定した。

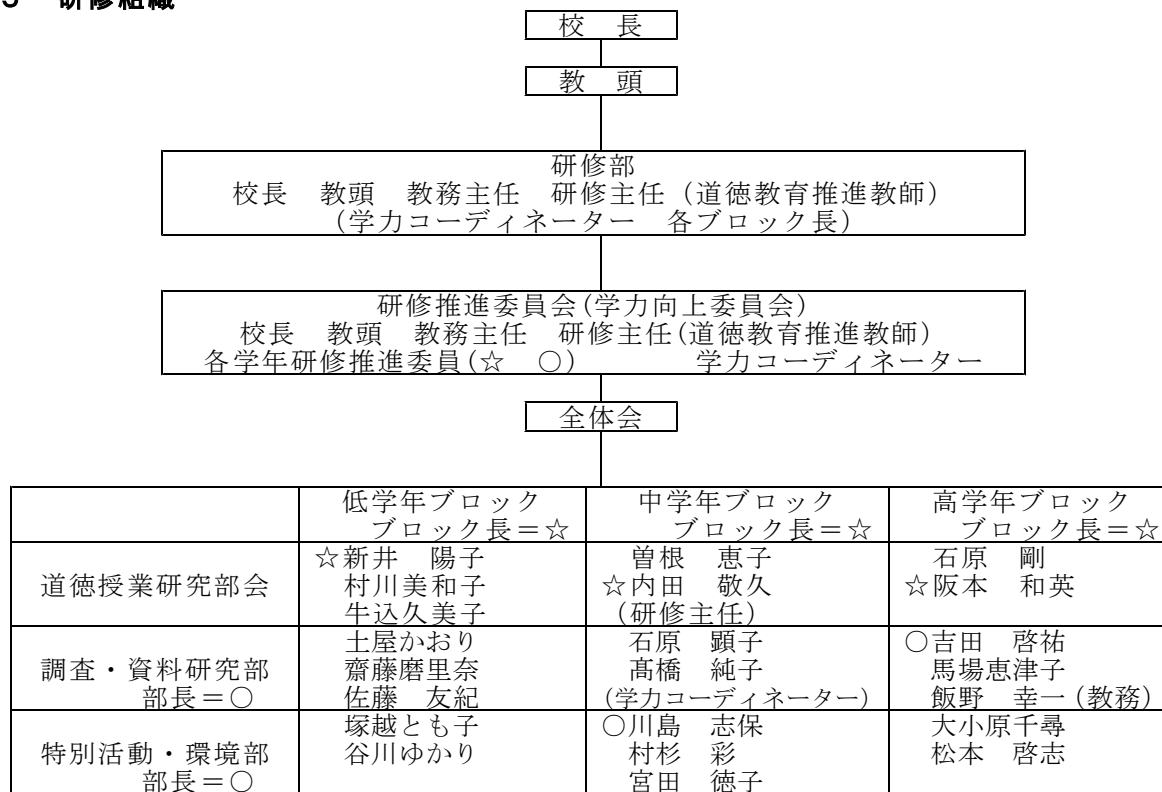
3 研修のねらい（研修目標）

道徳の時間において、児童一人一人が、自分の思いや考えを伝え合うことにより、自分の考えを深めたり高めたりして、ともによりよく生きようとする児童を育成する。

4 研修の見通し（研修仮説）

道徳の時間において、自分の思いや考えを伝え合う活動を取り入れ工夫することによって、児童は、自分の考えをもつとともに、他者の思いや考えに触れ、自分の考えを深めたり高めたりして、他者ととともにこれからの自分の生き方をさらによりよいものにしようと努力することができるであろう。

5 研修組織



○道徳授業研究部会(低・中・高学年ブロック)

道徳の授業改善 資料活用 教材研究 価値の自覚を深めるための発問や手立ての工夫
模擬授業・一人2授業・授業研究会の実施 地域人材や保護者の授業協力の効果的な活用
指導案綴り 道徳だより 紀要作成

○調査・資料研究部会(道徳に関する)

実態調査や各種アンケート 結果の集計や分析 講演会の計画・設営準備
道徳教育全体計画・各学年の年間計画・別葉の改善 道徳コーナーの設置
紀要作成

○特別活動・環境部会

児童主体(計画委員)の学級会活動の授業の在り方 授業実践(教科等研修)
各学年の特活年間計画の改善

縦割り活動 各種集会 緑の少年団の活動の充実・花いっぱい 道徳的実践の場の工夫
紀要作成

※学カコーディネーターを中心に各学年でNRTの分析、名和小オリンピック・家庭生活習慣カード・CRTの実施と『学び合う算数』の授業実践

6 研修の具体内容

(1) 主題研修

①理論的研修

- ・学習指導要領の輪読，「はばたく群馬の指導プラン」の活用，参考文献の購読，講師招聘学習会，出張報告会

②分析による研修

- ・教材研究の充実
- ・各種調査・アンケートによる児童の実態把握と考察

③授業実践を通じた研修

- ・目指す児童像の検討
- ・日々の授業実践による情報交換
- ・一人2授業
- ・学年やブロックによる授業研究・検討
(・外部に向けた公開授業)
- ・代表授業による重点的研修

④温かい学級づくりと学級活動の充実

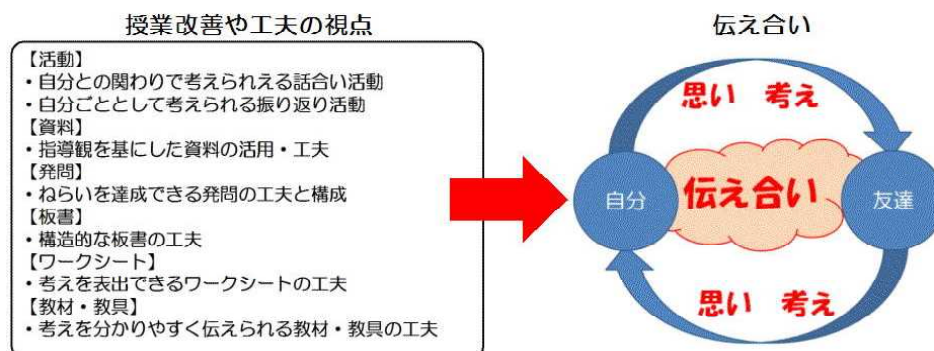
- ・児童が相互に認め合い支え合う学級づくり
- ・学級経営との関連を図り，計画委員会を中心にした話し合い活動や児童主体の学級活動の充実

⑤よりよい人間関係づくり(いじめ・不登校の未然防止)

- ・生徒指導部会および教育相談部会の活動を活性化し，学習生活相談員やスクールカウンセラーとの連携を図りながら，学校全体で「きずなづくり」に努める。
- ・毎月1回，「なかよしアンケート」を行い，児童理解に努める。
- ・人権教育講師招聘学習会

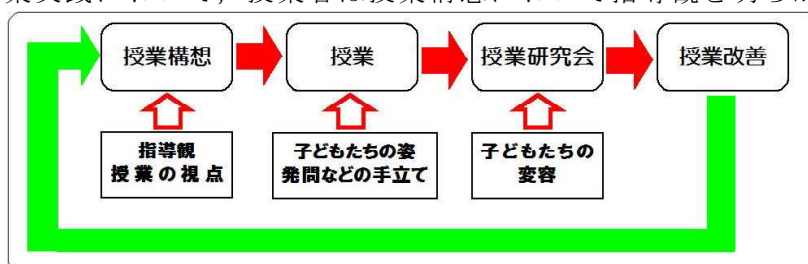
(2) 研究過程

道徳の時間において自らの思いや考えを伝え合うことできるよう，活動や資料，発問，板書，ワークシート，教材・教具などの視点で授業の改善や工夫を行っている。



(3) 検証方法

授業改善や工夫の視点において，低・中・高学年ブロックごとに，授業実践と授業研究会を繰り返し行いながら，子どもたちが自らの思いや考えを互いに伝え合うことができるかを検証している。また，授業実践において，授業者は授業構想において指導観を明らかにし，授業の視点を提示する。そして，道徳的な価値理解や人間理解，他者理解，自己理解という観点から，授業における子どもたちの変容を通して検証を行っている。



(4) 研究授業

期日	授業者	学年・組	教科等(単元名及び主題名)	その他	研究会
4月27日(月)②	内田敬久	4年2組	道徳「自分のことは自分で」	1-(1)	4月27日
6月26日(金)②	曾根恵子	3年1組	道徳「隠さず正直に」	1-(4)	6月26日
6月29日(月)③	馬場恵津子	3年2組	音楽「リコーダーとなかよしになろう」	3-(3)	
6月30日(火)②	齋藤磨里奈	2年2組	道徳「親切」	2-(2)	7月3日
6月30日(火)③	内田敬久	4年2組	道徳「得意なことを伸ばそう」	1-(5)	
7月1日(水)②	村杉彩	4年1組	道徳「いじめについて考えよう」	2-(3)	7月8日
7月1日(水)②	谷川ゆかり	2年1組	道徳「悪いと気がついたら」	1-(4)	7月3日
7月2日(木)⑤	飯野幸一	6年2組	理科「生き物のくらしと環境」	3-(2)	
7月3日(金)②	村川美和子	2年3組	道徳「みんなが使う物」	4-(1)	7月3日
7月14日(金)④	宮田徳子	あおぞら	生活単元「夏休みの生活」	1-(1)	
7月15日(水)①	川島志保	3年3組	道徳「友達と助け合って友情を深める」	2-(3)	7月15日
9月1日(火)⑤	高橋純子	6年1組	算数「比と比の値」	2-(3)	
9月7日(月)⑤	石原剛	5年1組	道徳「思いやりの心を大切に(プレ授業)」	2-(2)	9月7日
9月30日(水)②	石原顕子	3年2組	道徳「規則を守って」	4-(1)	10月5日
10月16日(金)⑤	松本啓志	6年1組	特活「思い出に残る文集を作ろう」	2-(3)	10月16日
10月19日(月)⑤	谷川ゆかり	2年1組	道徳「温かい心」(研究授業)	2-(2)	10月19日
	杉村彩	4年1組	道徳「ルール違反」(研究授業)	4-(1)	
	石原剛	5年2組	道徳「思いやりの心を」(研究授業)	2-(2)	
10月29日(木)③	牛込久美子	なかよし	自立活動「『なかよしウズ』のやくそくをきまよう」	4-(1)	
10月29日(火)④	高橋純子	4年1組	算数「計算のきまり」	4-(1)	10月30日
11月13日(金)③	新井陽子	1年1組	道徳「みんなが使う物」	4-(1)	1月17日
11月19日(月)③	大小原千尋	5年3組	道徳「相手の立場」	2-(4)	12月8日
11月16日(月)②	石原顕子	3年2組	道徳「きまりを守るといことは」	4-(1)	11月11日
11月16日(月)⑤	吉田啓祐	5年1組	道徳「公共でのマナー」	4-(1)	12月8日
11月20日(金)①	土屋かおり	1年2組	道徳「みんなが使う物」	4-(1)	1月17日
11月26日(火)⑤	馬場恵津子	6年1組	音楽「風を切って」	2-(3)	
12月1日(木)③	塚越とも子	1年3組	道徳「みんなが使う物」	4-(1)	1月17日
12月7日(月)③	曾根恵子	3年1組	道徳「みんなの場所をきれいに」	4-(1)	12月16日
12月8日(火)⑤	阪本和英	6年2組	道徳「広い心」	4-(2)	12月8日
1月28日(木)⑤	塚越とも子	1年3組	道徳「小さな親切」	2-(3)	授業後 実施予定
2月3日(水)①	新井陽子	1年1組	道徳「小さな親切」	2-(3)	
2月9日(火)③	内田敬久	4年2組	道徳「思いやりのリレー」	2-(2)	
2月10日(水)③	吉田啓祐	5年1組	道徳「だれでもが共有できる永遠の喜び」	4-(4)	
2月12日(金)①	土屋かおり	1年2組	道徳「小さな親切」	2-(3)	
2月12日(金)②	牛込久美子	なかよし	自立活動「学習発表会の準備をしよう」	1-(5)	
2月15日(月)⑤	飯野幸一	4年2組	理科「物のあたたまり方」	1-(5)	
2月16日(火)②	阪本和英	6年2組	道徳「差別をなくす」	4-(2)	
2月19日(金)②	村川美和子	2年3組	道徳「ふるさとに親しみをもって」	4-(5)	
2月24日(木)③	松本啓志	6年1組	道徳「清らかな心」	3-(3)	
2月25日(木)②	川島志保	3年3組	道徳「さりげない親切」	2-(2)	
2月26日(金)①	齋藤磨里奈	2年2組	道徳「おかあさんありがとう」	2-(4)	
3月4日(金)③	大小原千尋	5年3組	道徳「心の温かさにつれて」	2-(2)	
3月4日(金)④	宮田徳子	あおぞら	国語「おもちゃのつくり方」	2-(2)	

※期日の「○数字」は校時 その他の「○-(○)」は道徳内容項目

(5) 研修会

日程	講演内容・講師
8月2日(日)	モラロジー研究会主催「思いやりの心を育てる」 講演「道徳教育をめぐる動き」 講師：文部科学省教育課程教科調査官 赤堀博行先生
8月3日(月)	二中地区幼小中連携研修 「思いや考えを伝え合う道徳教育の工夫・改善」 講師：群馬県総合教育センター指導主事 福島 桂 先生
9月7日(月)	「道徳授業で大切なこと 道徳授業学習指導案の作り方」 講師：文部科学省教育課程教科調査官 赤堀博行先生
10月19日(月)	「今、求められる道徳教育の充実」 講師：文部科学省教育課程教科調査官 赤堀博行先生
1月22日(金)	「『特別の教科 道徳』で、変わること、変わらないこと ～道徳科の完全実施に備えて～」 講師：元全国道徳教育研究会会長 東京福祉大学特任教授 東京学芸大学教職大学院特命教授 福田富美雄 先生
2月5日(金)	「小学校道徳における授業研究の課題と方法－教師の暗黙知に着目して－」 講師：群馬大学教育学部教授 黒羽正見 先生

研修の全体構想

学校目標

心ゆたかに たくましく 未来をひらく 児童の育成
 ・ ・ よく考え工夫する子 思いやりのある子 がんばりのきく子 ・ ・

研修主題

ともによりよく生きようとする児童の育成
 — 自分の思いや考えを伝え合う道徳の時間の工夫・改善を通して —

目指す児童像

自らの思いや考えを互いに伝え合う活動を通して、自らの考えを深めたり高めたりするとともに、他者の思いや考えに触れ、自分の生き方をさらによいものにしようと努力する子

低学年 目指す児童像	重点内容項目	中学年 目指す児童像	重点内容項目	高学年 目指す児童像	重点内容項目
自分や友達の思いや考えを大切にし、伝え合い、自分の思いを広げることができる子	1	友達の思いや考えを大切にして、よりよい自分の考えを生活の中で生かす子	1	他者の思いや考えに触れ、自分の生き方をよりよくしようと努力する子	1
・自分のことは自分できる子		・落ち着いて考え、行動できる子		・真剣に考え、進んで行動し最後までやりぬく子	
・友達と仲良く遊び、優しくできる子	2	・進んで友達に親切にできる子	2	・友達の考えをよく聞いて協力し合える子	2
・優しい心で動植物をかわいがる子	4	・自然に親しみ、優しい心で動植物を大切にしようとする子	4	・動植物を愛し、自然保護に努める子	4
・物を大切にし、約束やきまりを守る子		・お互いに声をかけ合い、きまりを守ろうとする子		・役割と責任を自覚し、集団行動に積極的に取り組める子	

道徳の時間の工夫・改善

自分との関わりで考えられる話し合い活動
 自分ごととして考えられる振り返り活動
 指導観を基にした資料の活用・工夫
 ねらいを達成できる発問の工夫と構成
 構造的な板書の工夫
 考えを表出できるワークシートの工夫
 考えを分かりやすく伝えられる教材・教具の工夫

資料

発問

板書

教材教具

話し合い活動

振り返り活動

役割演技等

体験的な活動

ワークシート